

令和8年7月10日

「こおりやまの米」通信

GOOD RICE DAY
毎月8日は
こおりやま「お米の日」

編集:郡山市

JA福島さくら郡山統括センター (Tel.024-921-0503)

NOSAI福島中央支所 (Tel.024-933-3307)

県中農林事務所農業振興普及部 (Tel.024-935-1310)

発行:郡山市農作物生産対策協議会

(郡山市農業生産流通課 Tel.024-924-3761)

生育状況速報(7月2日現在)

1 生育状況

(1) 作況ほ場の生育状況

7月2日に実施した各調査ほ場の調査結果は、以下の表のとおりです。平年と比較して、草丈は平年並～短い、茎数は多い～少ない(調査ほ場ごとにばらつきが大きい)、葉齢進展は遅い、葉色は淡い傾向です。

生育調査結果(7月2日現在)

品種	地区	移植日	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉齢 (葉)	葉色値 (カラスケール値)	葉色値 (SPAD502値)
コシヒカリ	田村	5月6日	61.7 (100)	521 (104)	7.7 (-2.4)	3.8 (0.1)	37.0 (-1.2)
コシヒカリ	三穂田	5月14日	53.1 (94)	558 (96)	9.3 (-0.4)	4.5 (0.1)	40.8 (-1.2)
コシヒカリ	富久山	5月11日	60.0 (91)	392 (98)	8.4 (-1.9)	3.0 (-1.2)	38.4 (-4.4)
コシヒカリ	日和田	5月5日	63.9 (102)	543 (110)	8.3 (-1.7)	3.5 (0.4)	33.8 (-6.0)
ひとめぼれ	熱海	5月16日	45.9 (95)	403 (98)	7.4 (-1.3)	6.0 (1.7)	42.8 (4.0)
ひとめぼれ	喜久田	5月13日	49.7 (98)	503 (102)	7.9 (-1.9)	3.5 (-1.0)	37.6 (-4.4)
天のつぶ	三穂田	5月28日	42.7 (75)	322 (65)	7.2 (-2.0)	4.5 (-0.4)	44.8 (-0.7)
里山のつぶ	湖南	5月3日	46.4 (101)	409 (90)	6.5 (-2.2)	5.5 (1.0)	41.6 (1.8)
ふくひびき	喜久田	5月14日	67.1 -	557 -	8.5 -	3.5 -	33.6 -
天のつぶ(直播)	喜久田	5月17日	37.9 (103)	480 (158)	6.0 (-1.3)	4.0 (-0.2)	36.4 (-5.3)

* ()内に平年比(%)又は平年差を記載した。

*「天のつぶ」(直播)については、移植日の欄に播種日を記載した。

*「ふくひびき」(喜久田)は、今年度から調査ほ場を変更したため、平年との比較データなし

(2) 福島県農業総合センターの生育概況

作柄解析試験(慣行栽培、5月15日移植)の6月23日時点の生育調査結果

	草丈 (cm)		茎数 (本/㎡)		葉齢 (葉)		葉色値 (SPAD)	
	6/23時点	平年比	6/23時点	平年比	6/23時点	平年差	6/23時点	平年差
ひとめぼれ	37.1	93	601	98	8.6	-0.1	46.0	+4.6
天のつぶ	39.1	89	551	105	8.5	+0.2	46.3	+4.7
コシヒカリ	40.1	96	645	112	8.9	+0.2	44.1	+5.0
福笑い	38.4	99	580	104	8.9	+0.1	46.6	+6.5

※平年値は、過去5ヵ年(R3~R7年)の平均値

2 今後の管理

(1) 水管理

- 有効茎数を確保したら速やかに中干しに移行します。茎数が不足している場合は、引き続き浅水管理を継続してください。
- 今年も生育期間を通して高温が予想されます。飽水(ひたひた水)管理は地温、水温を下げる効果が確認されていますので、出穂期以降、高温が予想される場合の水管理として実施しましょう。

(2) 病虫害防除

- 葉いもちに感染しやすい日を判定するシステム BLASTAM(ブラスタム)を公開しています。感染後約1週間で病斑が発生するので、感染しやすい日を確認した場合は、その1週間後には場を観察し、早期発見に努めてください。
- 斑点米カメムシ類対策として、畦畔雑草は出穂10日前までに刈り取りましょう。近年、郡山市内でも確認されている大型のクモヘリカメムシの発生が多い場合は、2回の防除を基本とし、1回目の防除を他のカメムシ類より早い出穂期～穂揃期に実施しましょう。

(3) 追肥

- 極端に葉色が薄い場合は、籾の肥大に影響することから、基肥一発肥料を用いた場合でも、窒素成分1kg/10a以内を目安に出穂期直前の「遅い追肥」を検討しましょう。

ブラスタムへ接続します⇒
(いもち病関連情報)



～～～熱中症にご注意ください～～～

1 農作業中の熱中症対策

(1) 計画的に作業しましょう

日中の気温が高い時間帯の野外作業は極力避けてください。どうしても必要な場合は帽子をかぶり、作業時間を短くしてください。

(2) 水分・塩分補給の時間をとりましょう

のどが渇いていなくても、20分おきに休憩し、水分補給をしてください。

(3) なるべく2人以上で作業しましょう

なるべく2人以上で作業し、時間を決めて声をかけあったり、異常がないか確認し合ってください。

(4) ビニールハウスや畜舎も注意

炎天下でない施設内も高温多湿ならリスク大。風通しをよくするなどの対策をしてください。

2 熱中症の症状と対応

(1) 現場での応急処置で対応できる軽症 ⇒ 応急処置

- | | |
|-------------------|--------------------------|
| ア めまい、立ちくらみがある | ・ 涼しい場所へ避難し、濡れタオル等で体を冷やす |
| イ 筋肉のこむら返りがある(痛い) | ・ 水分、塩分を補給する |
| ウ 拭いても拭いても汗が出てくる | |

(2) 病院への搬送を必要とする中等症 ⇒ 医療機関へ

- | | |
|----------------|---------------------------|
| ア 頭がガンガンする(頭痛) | ・ 服をゆるめ体を冷やす |
| イ 吐き気がする・吐く | ・ 水分、塩分補給(吐き気がする・吐く場合は厳禁) |
| ウ 体がだるい(倦怠感) | ・ 医療機関で受診 |

環境省熱中症予防情報サイト⇒
熱中症に関する各種情報が閲覧できます。



農林水産省熱中症対策リーフレット⇒

